

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン（関西連盟）

関西連盟としては、日本協会作成のガイドラインに加えて、下記ガイドラインを追加させていただきますので、周知徹底をお願いいたします。

- (1) 各チームは、試合当日の選手・指導者の健康状態とスタンドでの応援体制をチェックした「新型コロナウイルス感染防止シート」を大会本部に提出する。大会本部は、提出されたチェックシートを確認すると共に、選手・指導者全員の検温ならびにアルコール消毒、マスクの着用を確認する。
- (2) 選手、指導者、スコアラーは、ベンチ内では必ずマスクを着用する。
 - ① 球場長ならびに審判の判断により、攻撃チームの選手全員がマスクを着用していても、ベンチ内が密とみなした場合は、選手10名程度をベンチ外に出す場合がある。
 - ② ベンチ内での熱中症対策、特に選手に対してはスポーツドリンク、首を冷やす処置等はチームが責任を持って行う。
- (3) ベンチ前の円陣は、禁止とする。
- (4) 試合前および試合後の消毒を徹底する
 - ① 第1試合前に連盟役員がベンチ、トイレ、トンボ等の消毒を行い、試合後は各チームで行う。（チームが分からない場合には、連盟役員が指導する）
 - ② トイレには、手洗い用の石鹸水、消毒液を連盟が備え、ドアノブ、水洗レバー、蛇口レバーなどを各チームで小まめに消毒する。
- (5) 試合中のチーム応援は、チームでコロナ感染防止管理責任者を決め、スタンドでのマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、大声での応援禁止等、感染防止を徹底させる。
- (6) 試合中、守備から選手がベンチに戻るときには、塁審から選手に対して、ベンチ内でのマスクの着用を注意喚起する。
- (7) 大阪コロナ追跡システムを運用する。

各試合会場にて、関西連盟で取得したQRコードが記載された用紙を配布し、チーム関係者全員にメールアドレスを登録してもらう。
（登録した日と同じ日に、同じ施設を利用された方に感染が確認された場合、注意喚起のメールが送信されます）
- (8) 各球場の管内放送で、スタンドでの注意事項（別紙）を試合前、3回、6回頭に放送する。

※大会期間中、上記ガイドラインが守られないチームに対しては出場停止処分とする場合があります。